



足寄町から雌阿寒岳を遠望



風倒被害に悪戦苦闘の一年

今年こそ自然の猛威に振り回されることなく

森林づくりに取り組みたい



十勝東部森林管理署
署長
山田 孝信

十勝東部森林管理署は十勝森林計画区の北東部に位置し、中央を十勝川支流の利別川が南に流れていま

す。管内はこの川に沿って陸別町、足寄町及び本別町の市街地が発達し、農業・林業の一次産業を中心とした地域に広がる、約十三万畝の国有林を十六の森林事務所所で管理しています。

は平成十六年の台風による被害木処理を終えて、いよいよ復旧造林をと考えていた矢先の平成十八年秋、異常に発達した低気圧による風倒被害を再び受け、その被害木調査とその処理作業に終始し、「とにかく慌ただしい一年だった」というのが実感です。

えましたが、この十年程の間に職員の平均年齢は五十代から一気に三十代となり、各分野で技術の継承が心配される場所ですが、このような中、年度初めの安全会議では、伐木造材作業基準等に係る熱のこもった勉強会を開催（災害事例による原因分析等）、今後は生産現場での「作業仕組」等についての研修会を予定し、その対策を図っています。



子どもたちに緑の大切さを伝えています

私生活においても「サミット開催」にふさわしい一年としたいと考えているところです。